

平成29年度当初予算編成方針のポイント

国・地方財政の動向

- ◇ 総務省の地方財政収支の仮試算 (H28.8月)
 - ・ H29地方一般財源→H28と実質的に同水準を確保
 - ・ ただし、「歳出特別枠」も見直される可能性があるなど、今後の地方財政対策の動向は不透明
- ◇ 地方創生や国土強靱化の推進、社会保障経費の増高など、地方の財政負担の増大は必至

徳島県の状況

- ◇ 政策課題が山積している中、「地方創生の旗手」として県勢の更なる飛躍を図る必要がある
- ◇ 財政構造改革基本方針(H26-H28)の目標は、すべて達成できることとなったが、強靱でしなやかな財政基盤を確立するためには、なお一層の努力が必要
- ◇ 実質公債費比率の状況
 - H28比率 16.7% (全国ワースト5位)

編成方針

「夢と希望」があふれる「徳島の新未来」を創造！

I さらに進化した新次元の施策展開

- 「新未来創造事業枠」を設定し、
 - ・ 先駆性のある取組みを徳島から発信
 - ・ これまでの取組みを加速し、地方創生の更なる展開
 - ・ 県民目線・現場主義を徹底し、多様な主体と連携した施策を強力に推進
- 若手タスクフォースの「発想力」を積極的に活用した施策の創造
- 「一歩先の未来」を見据え、積極果敢な課題解決を図る
新たな財政構造改革基本方針の推進

II あらゆる歳出の大胆な「質の転換」

- 施策の「硬直化」を徹底して排除し、「新たな発想」による施策を大胆に展開
- 「歳出の中から歳入を生み出す取組み」の更なる進化
- 県と市町村等との役割分担の最適化

III 新たな歳入確保対策の推進

- 国庫支出金や外部資金の積極的な活用による、県費負担の徹底した削減と、より大きな事業量の確保
- 地方創生推進交付金を積極的に獲得し、最大限活用
- 企業版ふるさと納税等の更なる活用 など

「課題解決の処方箋・徳島モデル」の創出を加速し、全国をリード！
徳島発の「地方創生」をさらなる高みへ！

行動計画、総合戦略の
具現化

新次元の「地方創生」を
大胆に展開

強靱でしなやかな
財政基盤の確立

要求基準のイメージ

「硬直化した事業」を徹底的に掘り起こし、「一歩先の未来」を見据えた事業に転換！

28年度当初予算
政策的経費等
(一般財源ベース)

政策的経費(3年未満)

政策的経費(3年以上)

維持補修費

施設管理費

一般管理費

新未来創造事業枠

前年度予算 +0%

前年度予算80%以内

前年度予算 +0%

前年度予算以内

前年度予算95%以内

新未来創造事業枠は、事業費10億円(一般財源5億円)の財源枠を設定

29年度当初予算
政策的経費等
要求可能額
(一般財源ベース)

「公共事業」については、国の動向等を踏まえ、別途定める

編成スケジュール(予定)

- | | | | |
|--------------|-----------|---------|---------|
| ○ 庁議、編成方針説明会 | 10月25日(火) | ○ 知事査定 | 1月 中旬頃 |
| ○ 要求書締切 | 11月4日(金) | ○ 予算案発表 | 2月 月上旬頃 |
| ○ 財政課長査定 | 12月 中旬～ | | |